

環境県民フォーラムだよ!り

VOL. 43 2019年3月1日 発行

“エコな～らライフ宣言” 植樹バスツアーを実施しました

「エコな～らライフ宣言」は、地球温暖化の原因となっているCO₂を少しでも減らすため、平成20年度から始めた取組です。家庭で取り組める省エネ行動を宣言していただき実践していただくことで、CO₂削減につながっていきます。宣言された方には、毎年実施している植樹バスツアーにご案内し、植樹をすることでさらに地球温暖化防止に貢献していただいています。今年度は11月17日（土）に、昨年度と同じ会場の大和郡山市にある野外活動センター「風とんぼ」で開催し、11名の方にご参加いただきました。

今年は異常気象のせいか、昨年度に植樹したハナミズキが枯れてしまったため、今回も昨年度と同様、赤と白のハナミズキ、計5本を植樹しました。参加者は家族で協力しながら穴を掘り、終始楽しそうに植樹していました。

植樹の後は、自然体験教室としてアスレチック体験と折り染体験を行いました。この日は天候に恵まれていたため、子ども達は思う存分アスレチックで楽しんでいました。

折り染体験では、紙に3色の色水で自由に色づけて、出来上がった紙でポケットティッシュケースを作りました。参加者は、「秋っぽい雰囲気になった」と、納得の出来にご満悦でした。自然体験教室の後は、ピザ作り体験。野外活動センターの職員の方にご指導いただきながら、参加者自ら生地をこね、レンガの釜と薪の火で焼き上げました。子ども達は、具材で顔を作るなど、一人ひとりこだわりを見せ、楽しそうに取り組んでいました。焼き上がったピザは、外はかりかりで中はもちっと、チーズはとろとろで味はもちろん満点！充実した体験となりました。

CO₂排出量削減のためには、各自ができることに1つずつ取り組み、継続していくことが大切です。当フォーラムが推進する「エコな～らライフ宣言」の取り組みの1つ1つの効果は決して大きなものではありませんが、みんなが取り組めば大きな力となります。まだ宣言されていない方は、是非ご賛同頂ければと存じます（下記HP参照）。また、今回ツアーにご参加されました皆さまには、植樹にご協力いただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。



ハナミズキの植樹



ピザづくり



折り染体験



アスレチック体験

「エコな～らライフ宣言」はホームページから宣言できます

「URL : <http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/ecocheck.html>」

皆さまからの宣言をお待ちしております！



エネルギー分科会 ～日本最大級の風力発電所を見学～

11月26日（月）に、三重県にある日本最大級の出力を誇る風力発電所「青山高原ウインドファーム」を見学しました。

青山高原は三重県津市西部から伊賀市東部にかけて広がる標高700～800mの高原で、主峰「笠取山」付近一帯は、若狭湾から琵琶湖を経て伊勢湾へ抜ける“風の通り道”となっており、本州屈指の風況の良い地域です。ここに750kW風車20基および2,000kW風車40基の合計60基の風車が設置されています。風力発電所の出力は95,000kWで、一般家庭約55,000世帯の電力をまかなうことができ、年間約93,000tのCO₂削減効果があります。

風力発電施設をはじめて見るメンバーも多く、高原に立ち並ぶ風車群に圧倒されました。再生可能エネルギーの可能性の大きさを、あらためて考えられる見学会になりました。今後は温暖化対策や再生可能エネルギー普及啓発に、今回の経験を活かしていきたいと思います。

（大阪ガス株式会社 和氣）



青山高原に立ち並ぶ風車



風車を背景に記念撮影

エコライフ分科会 ～山間部の下水処理施設を見学～

10月19日（金）に、天川村にある村営の下水処理施設「洞川浄水センター」を見学しました。

天川村は、「ごろごろ水」や「洞川温泉」「みたらい渓谷」など、美しい水環境と観光資源に恵まれた自然豊かな地域です。このような自然を保全していくためには自治体と住民が一体となって污水处理行政を進めていくことが重要です。そのような中、天川村の全人口（約1,500人）のうち50%の方が村営の下水道を、25%の方が合併浄化槽を利用しており、これらを合計した数値（＝「污水处理人口普及率」）は75%と山間部では高いものとなっています。これは、村営下水道へのつなぎ込みや浄化槽への転換について村民の理解・協力なくしては成し得ないことであり、村役場の職員の方もおっしゃっておられた「村も住民も運命共同体」という村民のマインドが大きく反映されているのだと感じました。そのあと、村役場さんのご厚意で、天川温泉の「薪ボイラー」も見学させていただくことができ、大変充実した見学会となりました。

（奈良環境カウンセラー協会 橋本）



洞川浄水センター内部の設備



洞川浄水センターを背景に記念撮影

資源活用分科会 ～リサイクルに取り組む企業の現場を見学～

12月5日（水）に、天理市にある積水化成品工業（株）天理営業所を見学しました。

この会社は昭和40年に設立され、現在274名が主に原料ビーズから作る発砲スチール製品を製造されておられます。

今回は、CSR活動に関連するリサイクル部門の施設と環境展示室を見学させていただきました（リサイクル施設は残念ながら撮影禁止となっていました）。コーポレート戦略本部CSR・広報部の尾崎部長さまにご案内をさせていただいたのですが、技術畑出身ということもありエコ製品開発のご苦労や裏話など大変興味深いお話を聞かせてくださいました。

発砲スチロールのリサイクルには、①98%が空気できているため運送コストがかかる、②異物除去は人の手で選別しなければならない、③食品トレイにリサイクル原料は使えない（食品衛生法）、といった多くの課題を抱えている一方で、循環型社会の構築ためには欠かせない取組です。製造現場が抱えるジレンマを垣間見ることができ、私たち消費者も常に環境と未来を考えて生活するという視点を忘れてはいけないことを痛感しました。（イオンリテール株式会社イオンスタイル奈良 桐山）



工場の外観



環境展示室の見学

自然環境分科会 ～自然環境セミナー等を開催～

<自然環境セミナーの開催>

10月14日（日）に天理市で自然環境セミナーを開催しました。今回は、「天理市山の辺の道ボランティアガイドの会」の久保田様にツアーガイドをお願いして、ウォーキングイベントを行いました。

JR柳本駅前を起点に、まずは黒塚古墳と展示館へ。古代から現代にかけて、時代ごとの豊かな自然との向き合い方について学びを深めました。

昼食後は、菜種栽培や橘の植林など自然環境分科会メンバーの活動拠点となっている渋谷フィールドへ。手に取って橘の葉の香り確かめるなど、菜の花プロジェクトと橘プロジェクトの活動を知ってもらう良い機会となりました。（ほっとねっと 寺前）



久保田さん(写真左から2人目)のお話を熱心に聞く参加者

<稲刈り体験>

昨年の10月14日（日）に、明日香村稲渕の棚田において、稲刈り体験および自然学習会を開催しました。参加者は約20名で「稲刈り」「稲束づくり」「はざ掛け」といった一連の作業を体験してもらいました。

（NPO法人明日香の未来を創る会 打越）



はざ掛け

<七草摘みと七草粥づくり>

1月13日（日）に、生駒市高山にある「生駒高山里山きゃんぱす」（同志社大学）において、「七草粥の会」を開催しました。穏やかな日差しの中、七草の特徴などを観察しながら七草摘みを行いました。摘んできた七草は、洗って、刻んで、お粥に投入！昆布出しと塩味のあっさり粥は、七草それぞれの味と香りがよくわかる七草粥になりました。

（自然観察指導員奈良連絡会 有山）



七草粥づくり

「やまと菜の花ねっと」

～菜の花だより～

天理・宇陀フィールド（活動団体：山の辺の道ファンクラブなど）

「綿つみ体験」を行いました

10月20日（土）に、天理市渋谷町の山の辺の道沿いの畑において「天理市環境フォーラム2018」の共催事業として「綿つみ体験」を行いました。山の辺の道ファンクラブとなら橋プロジェクトで管理している畑では、今年も綿が真っ白い実をたくさん付けていました。当日は、スタッフを含めて約140名の参加があり、天理市長のほか多くの来賓の方々も応援にかけつけていただきました。天理大学エコサークルの皆さんの出し物などで楽しんだ後、お待ちかねの綿つみ体験。摘み取ったかわいいフワフワの綿の実はお土産として持ち帰っていただきました。

昔は、山の辺の道周辺では、菜種栽培の他、綿の栽培も盛んに行われていたということです。現在は外国から入った綿の下着などを着ていますが、少し前までは綿の栽培や織物の製造もすべて国内で行われていました。そんなことを思いながら少し昔にタイムスリップした一日でした。



綿摘み体験の様子

葛城フィールド（活動団体：エコ葛城市民ネットワーク）

菜の花の植え付け体験を行いました

今年は、市内のすべての小学校で菜の花の植え付け体験を行いました。

土を触ることを嫌がる子どもも何人かいましたが、それぞれに頑張って植え付けをしてくれました。菜の花が満開になる春が待ち遠しいです。

菜種の収穫から搾油体験を通して、少しでも資源循環型の社会に関心を持ってもらえればと期待しています。



菜の花の植え付け体験

大仏様に菜種油を奉納しました

10月17日（水）に、新庄小学校4年生の遠足に合わせて、奈良の東大寺で菜種油の奉納を行いました。

奉納した菜種油は、児童たちが植付けから追肥、除草を行い、大事に育ててきた菜の花を原料としたものです。

「東大寺の燈明にぜひ使って頂きたい」との思いで奉納させて頂きました。

奉納儀式の際は、クラスの代表4名が大仏さまの台座まで上がりさせて頂き、直接奉納台に菜種油を置かせてもらうことができました。子供たちにとって、大変思い出深く貴重な体験となりました。



菜種油を奉納する生徒達



大仏様の御前に奉納された菜種油

奈良フィールド（活動団体：大和の国・菜の花エコプロジェクト）

菜の花の移植と芋ほり&石焼きも体験を行いました

11月4日(日)に、奈良市北永井フィールドにおいて、菜の花約2,000本の移植と芋ほり&石焼き芋体験を行い、参加者・スタッフ合わせて50名にご参加いただきました。

ナルク奈良や奈良市地球温暖化対策地域協議会の菜の花サポーターさんにもお手伝いをしていただき、また、北永井町自警団さんからは、焼きそばの提供や防災についてのお話をさせていただきました。



芋ほり体験の様子

桜井フィールド（活動団体：さくらい菜の花プロジェクト）

菜種油の奉納と環境学習を行いました

9月から12月にかけて、市内の保育所子ども達と中学校の生徒達とともに、菜種油の奉納や環境学習を行いました。5年目となるこの活動はしっかり定着し、種まきから収穫・選別まで全てを子供・生徒達で行っています。



大神神社での菜種油を奉納する保育所の子ども達



環境学習に取り組む中学校の生徒達

～橘だより～（なら橘プロジェクト推進協議会）

大和郡山市で産声を上げた大和橘の栽培プロジェクト「なら橘プロジェクト」は、今年で8年目を迎えました。主な栽培地も奈良市尼ヶ辻、大和郡山市石川町、天理市柳本町・渋谷町などと広がってきました。昨年末の大和橘の実の収穫量も格段に増えました。それと同時に大和橘を使った商品開発も広がりを見せています。大和橘を使った和菓子から始まり、大和茶、橘飴、橘こしょう、ハンドクリームなどの化粧品、大和ぼんず、ジン、そして草木染。しかし、生産性にはまだまだ課題が多い状況です。

橘を通じた人の縁は相変わらず広がり続けて、橘の持つ底力に驚いています。一昨年はNHKの大河ドラマ「おんな城主直虎」の撮影で奈良から提供した大和橘が使用されました。また、昨年の秋には文化功労者に選ばれた歌舞伎役者の片岡仁左衛門さんや作曲家の都倉俊一さんへのお祝い品として橘で染めた風呂敷を注文いただきました。さらに、昨年の暮れには、これまでの活動の歩みを「よみがえれ！大和橘」として出版することができました。引き続き、大和橘の栽培を核としながら、人との繋がりを広げていきたいと思ひます。



大和橘からつくったジン



ジンをつくる蒸留器



協議会の活動記録「よみがえれ！大和橘」



平成31年度総会・交流会のお知らせ



日時：平成31年4月23日（火）午後

場所：奈良県文化会館 集会室A・B

会員の皆様には詳細は追って連絡いたします。



総会(昨年度)の様子



交流会(昨年度)の様子

募集中！！



エコな～らライフ宣言

- ・CO2ダイエットに取り組んでいただける方からの宣言を募集中です！
- ・是非宣言し、植樹ツアーに参加しましょう！

宣言方法は以下の二通り

1. チラシに記入してFAXで送信（0742-22-1668）
2. 環境情報サイトエコならの宣言webサイトから宣言
(<http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/>)



賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは賛助会員として活動をご支援いただける企業、団体等を募集しています。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますよう、お願い申し上げます。

特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！り」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名(ご希望の方)を掲載いたします。
3. 主催事業(省エネクッキングなど)に優先的にご参加いただけます。



編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町30番地 奈良県環境政策課内

TEL:0742-27-8732 FAX:0742-22-1668